

受験生の皆さんへ

## 『野菜や果物に発生する生理障害の原因を科学する!』

山形大学農学部安全農産物生産学コース

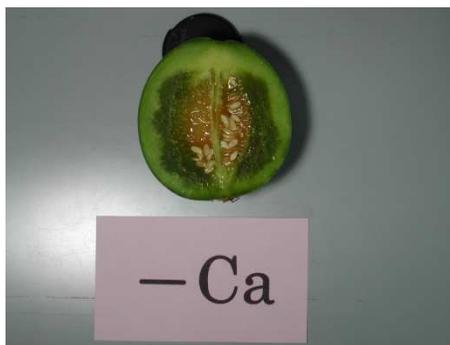
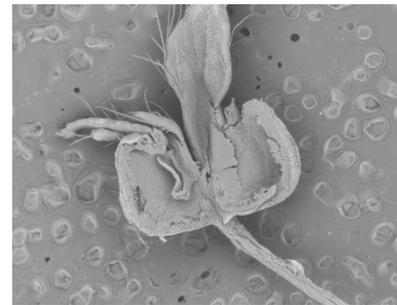
教授 西澤 隆 (NISHIZAWA, Takashi)



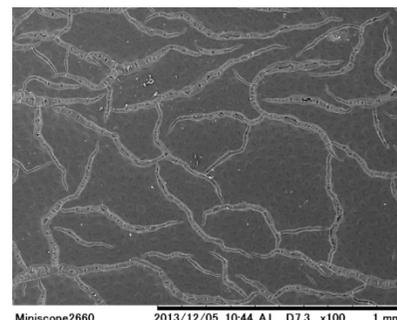
マンゴーの「スポンジ状果」と電子顕微鏡写真



イチゴの「葉状果」と電子顕微鏡写真



メロンの「水浸状果」



トマトの「Micro cracking」

内容;野菜や果物には、病気以外で起こる様々な障害があることが知られており、こうした傷害を「**生理障害 (physiological disorder)**」と呼んでいます。例えばメロンを切ってみると果肉が透明になっていたり、お酒のようになっていたり、収穫前のイチゴ果実から芽が出たようになっていたり、あるいはマンゴーの果実の真ん中に大きな空洞が出来ていたりする現象は、病原菌によって起こる障害ではなく、気象条件や栄養状態が原因で起こる生理障害です。こうした生理障害の多くは果実の内部で発生するため、外観からは判断するのが難しいことが多く、それだけに、購入した消費者からのクレームも多くなります。ですから、生理障害の原因を突き止めて、その対策を講じることは、生産者だけでなく、消費者にとっても重要なテーマですし、原因の究明には**生物学や化学の基礎知識**が非常に重要となります。私達の研究室では、「**世の中に直接役に立つ科学**」を目指して、日々研究を行っています。受験生の皆さんも是非私達の研究室で共に学んでくれることを期待しています。詳しくは研究室のホームページをご覧ください!!

所 属: 野菜園芸学分野

専 門: 園芸学【ストレス生理学】

自己紹介: 南米や東南アジアを研究フィールドにして、これから栽培が増えそうな野菜や果物についての研究も行っています。

連絡先: TEL 0235-28-2828, FAX 0235-28-2812

E-mail: nisizawa@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/~nisizawa/>